

航空局からの要請を踏まえ、能登空港の民航早期再開に向けた復旧方法等に関する技術支援のため、空港研究部 坪川空港施設研究室長、河村主任研究官の2名を、1月6日～9日の間、現地に派遣（8人日）。その他の期間においては、リモートでの技術支援を実施。



能登空港(のと里山空港)位置図
(出典:のと里山空港HP)



能登空港における現地確認の様子



(段差10cm以上のひび割れ)



(15cm程度の窪み)

被災箇所例

○能登空港においては、今回の地震発生により、滑走路(延長2,000m)に多数のひび割れ箇所等が発生。

○特に、民間航空路線(羽田便)の再開等に支障となる、段差を伴うひび割れについて、早急な復旧工事の実施が必要。

○適切な復旧方法等の検討に対して、上記の国総研研究者が技術的知見を提供し、支援を実施。